

2019年4月26日

2019年3月期 決算説明会

証券コード 2335

Contents

2019年3月期
1 決算概況
(取締役 常務執行役員 山岡 一裕)

2020年3月期
2 見通し
(取締役 専務執行役員 飯田 賢一郎)

V2020 3rdSTEP 2018-2020年度
3 中期経営計画の進捗と展望
(代表取締役 社長 崎山 収)

巻末資料

1

2019年3月期 決算概況

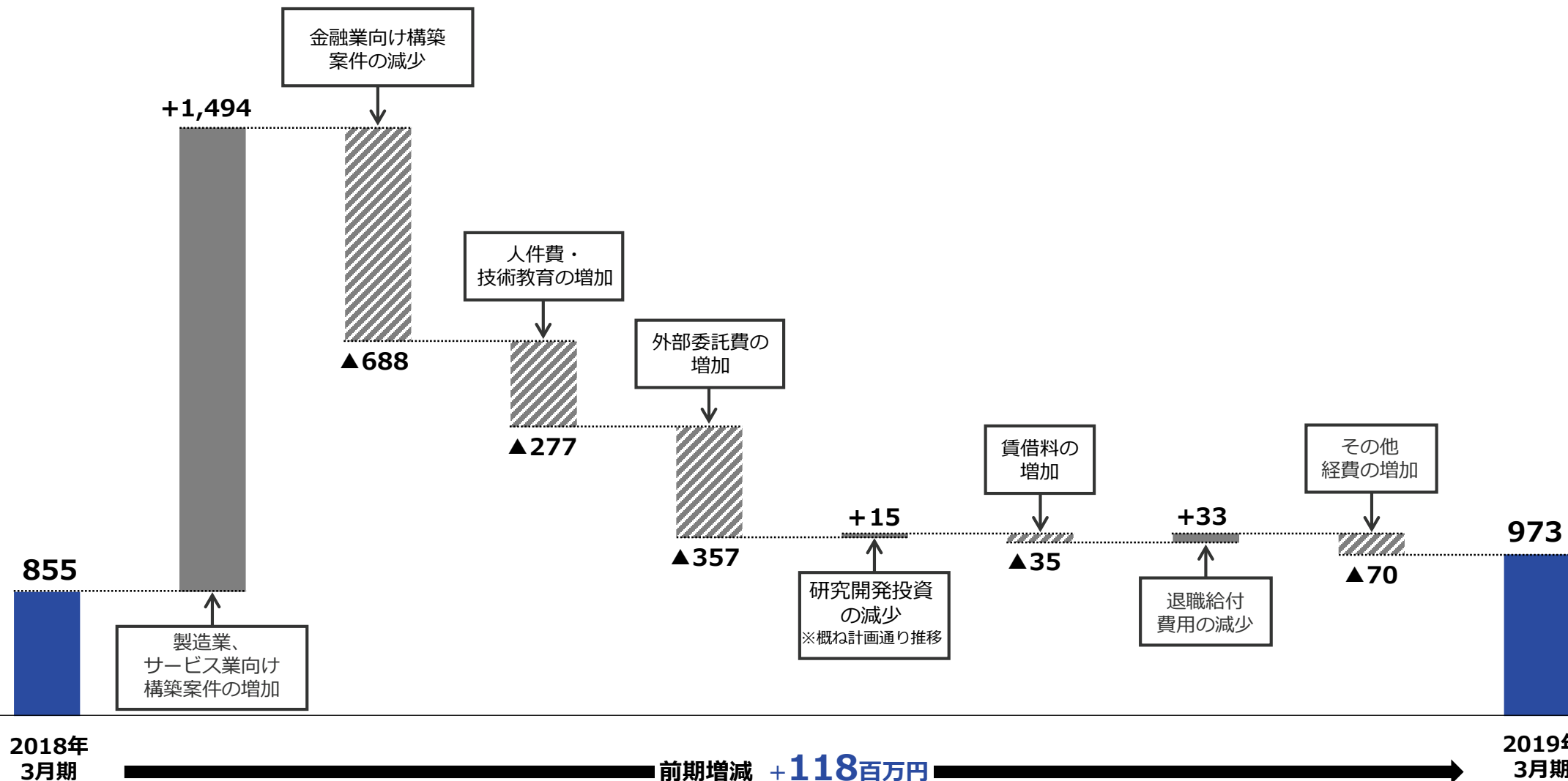
1. 連結損益計算書概要
2. 営業利益の増減要因（前期比較）
3. 品目別売上高・売上総利益推移
4. 業種別売上高・売上総利益推移
5. 顧客グループ会社に対する売上高推移
6. 一人当たり指標
7. 自己資本およびR O E の推移

製造業中心とした堅調な受注により増収・増益

		2019年3月期 実績 (増減率)	2018年3月期 実績	2019年3月期 業績予想 (達成率)
(単位：百万円)				
売上高	前期実績より 5.9%増 業績予想に対する達成率は 97.7% 金融業において銀行向け案件並びに生命保険会社向け案件にて体制の縮小により受注額が減少するも、建設機械メーカー向けシステム構築案件の拡大や食品製造会社向けシステム構築案件の拡大ならびにコンサルティング案件の拡大等により堅調に推移	売上高 14,365 (+5.9%)	13,559	14,700 (97.7%)
		営業利益 973 (+13.9%)	855	1,010 (96.4%)
		同利益率 6.8%	6.3%	6.9%
営業利益	前期実績より 13.9%増 業績予想に対する達成率は 96.4% 売上高の増加に加え、既存ビジネスにおける生産性の向上や体制の最適配置等による製造原価率が低減したため増益	経常利益 1,012 (+13.4%)	892	1,010 (100.2%)
		同利益率 7.0%	6.6%	6.9%
		親会社株主に帰属する 当期純利益 633 (+11.6%)	567	640 (98.9%)
		同利益率 4.4%	4.2%	4.4%

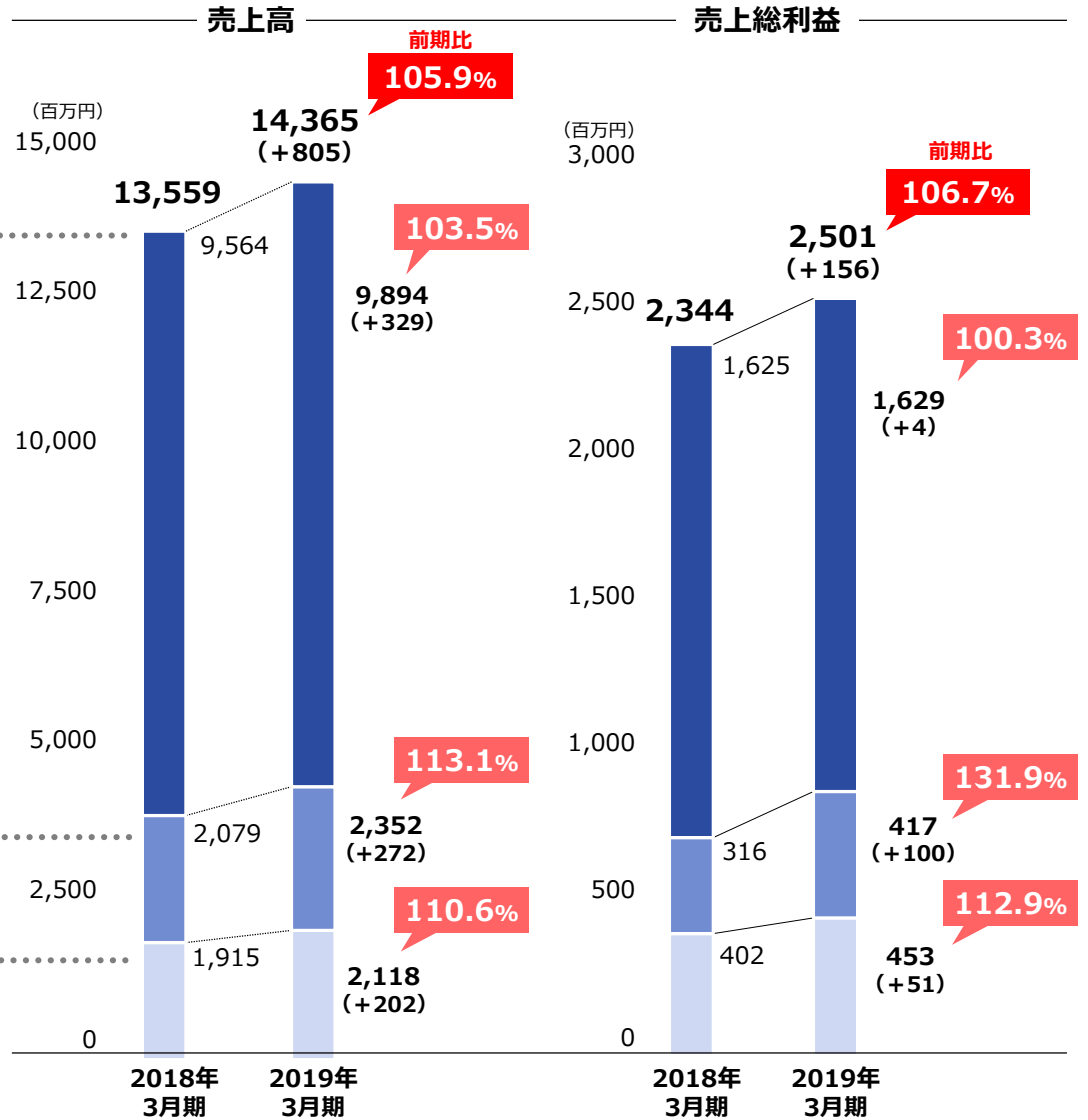
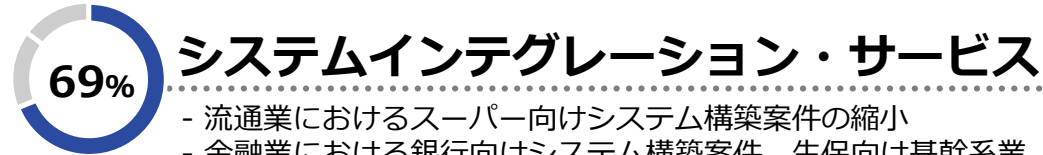
1-2 営業利益の増減要因 (前期比較)

(単位：百万円)



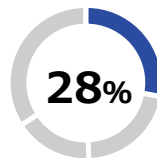
1-3 品目別売上高・売上総利益推移

売上高構成比 [2019年3月期]



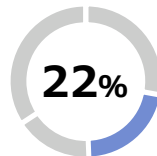
1-4 業種別売上高・売上総利益推移

売上高構成比 [2019年3月期]



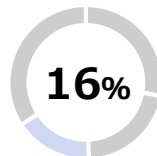
金融業 銀行 11%/保険・証券 11%/その他金融 6%

- 銀行向け及び生命保険会社向けシステム構築案件の縮小
- ネットバンク向けシステム構築案件の拡大
- クレジットカード会社向けシステム構築案件の拡大



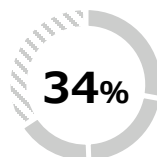
流通業 小売・卸売 22%

- スーパー向け及び総合商社向けシステム構築案件の縮小



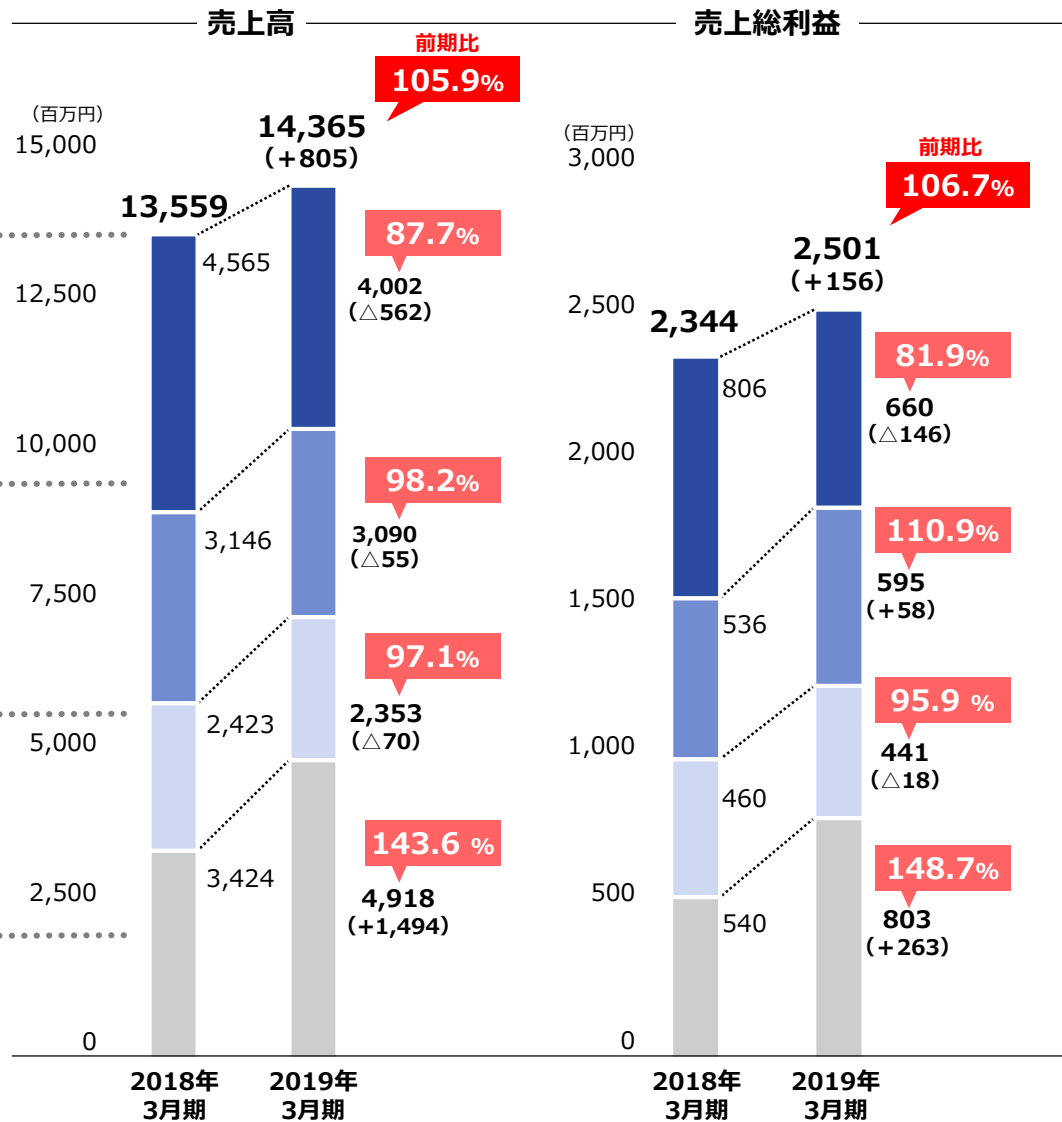
通信業 通信・運輸 16%

- 通信キャリア向け電力関連システム構築案件の縮小



その他 官公庁 7%/製造業 13%/その他 14%

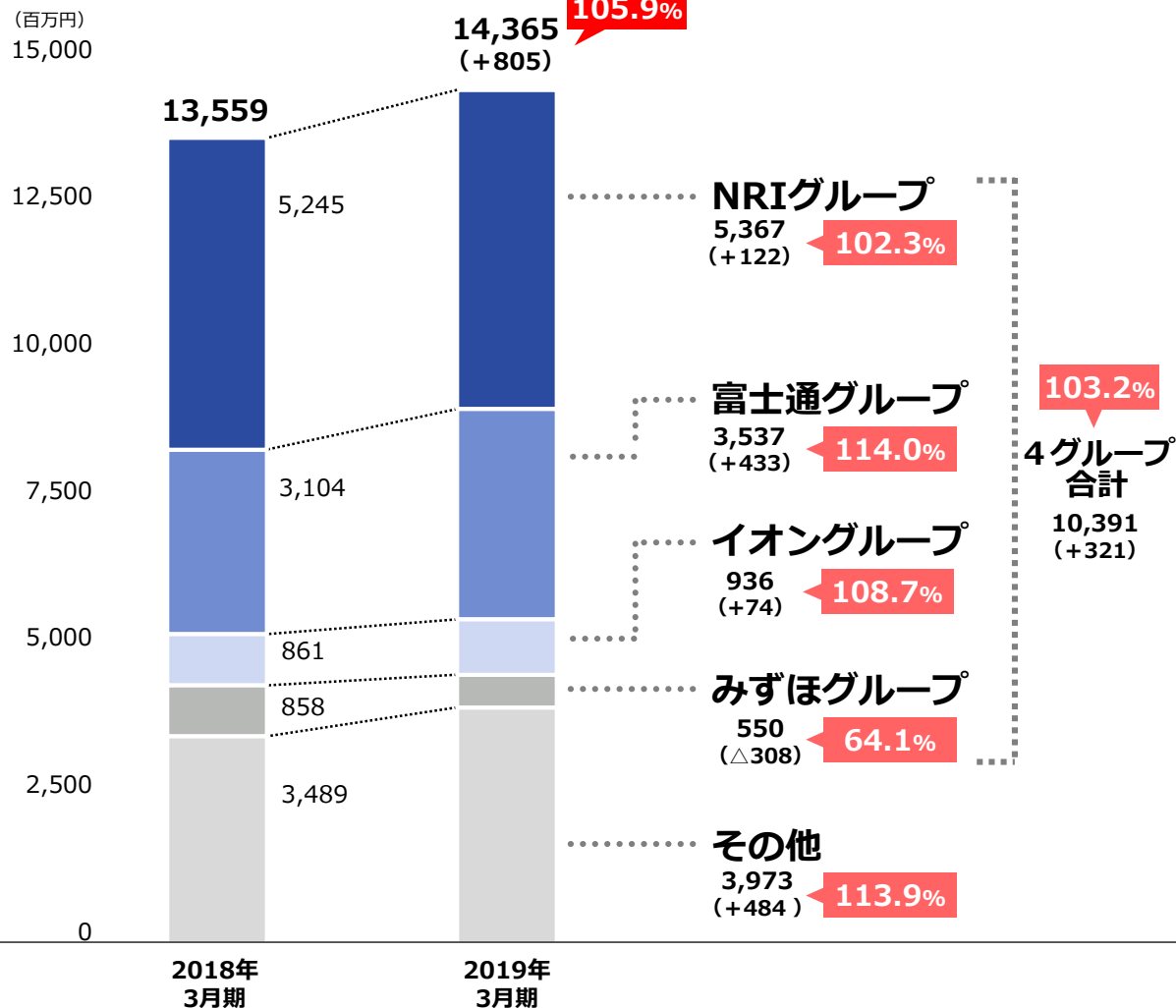
- 製造業における建設機械メーカー及び食品製造会社向けシステム構築案件の拡大
- クラウドコンサル案件の拡大
- サービス業向けシステム構築案件の新規受注による拡大
- 電力事業会社向けシステム構築案件の拡大



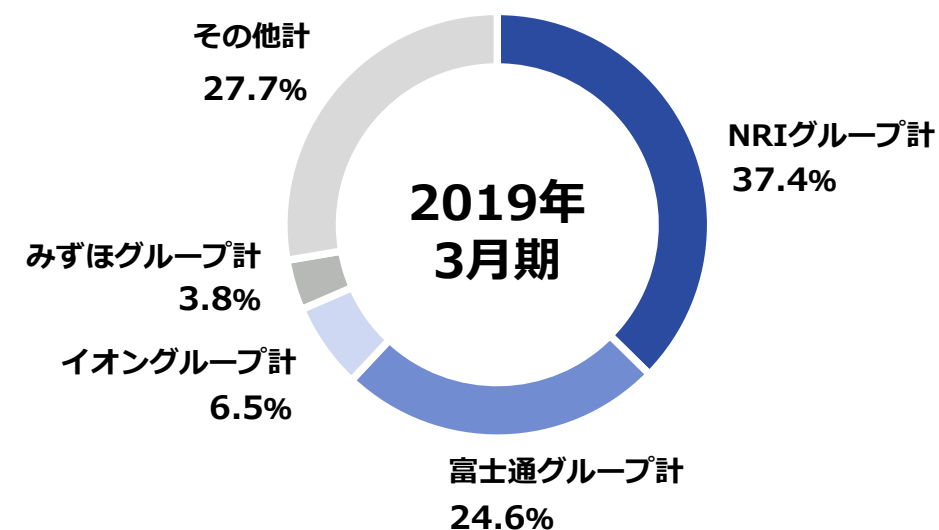
1-5 顧客グループ会社に対する売上高推移

売上高

(百万円)

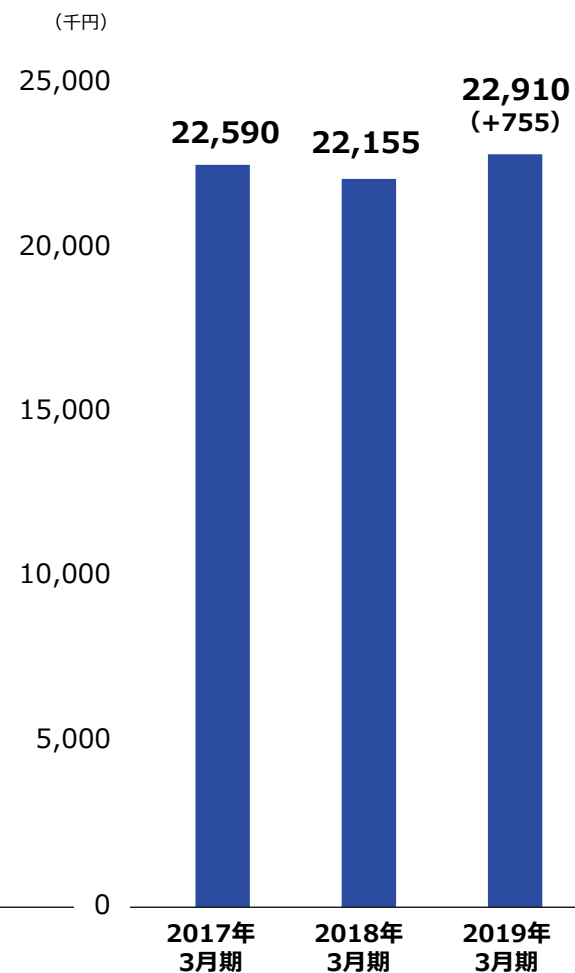


売上高構成比 [2019年3月期]

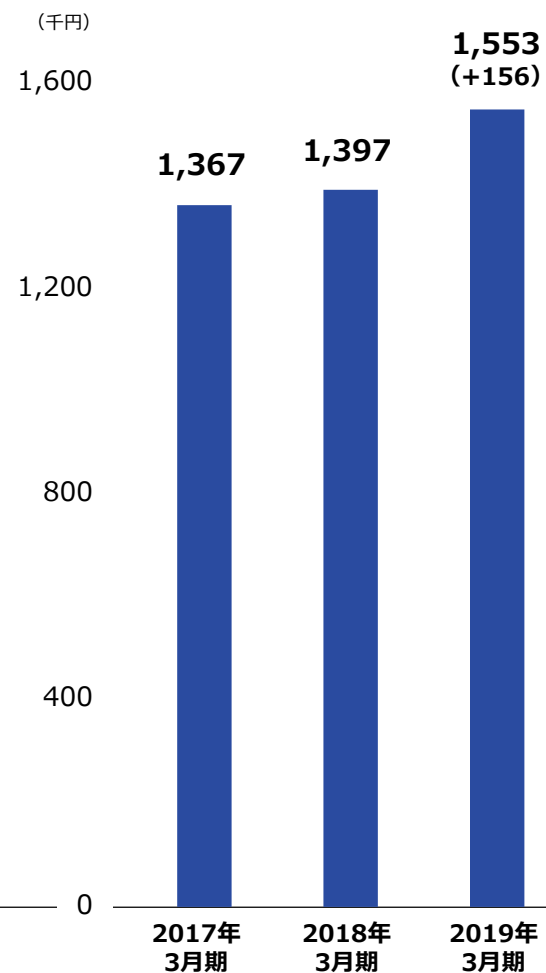


1-6 一人当たり指標

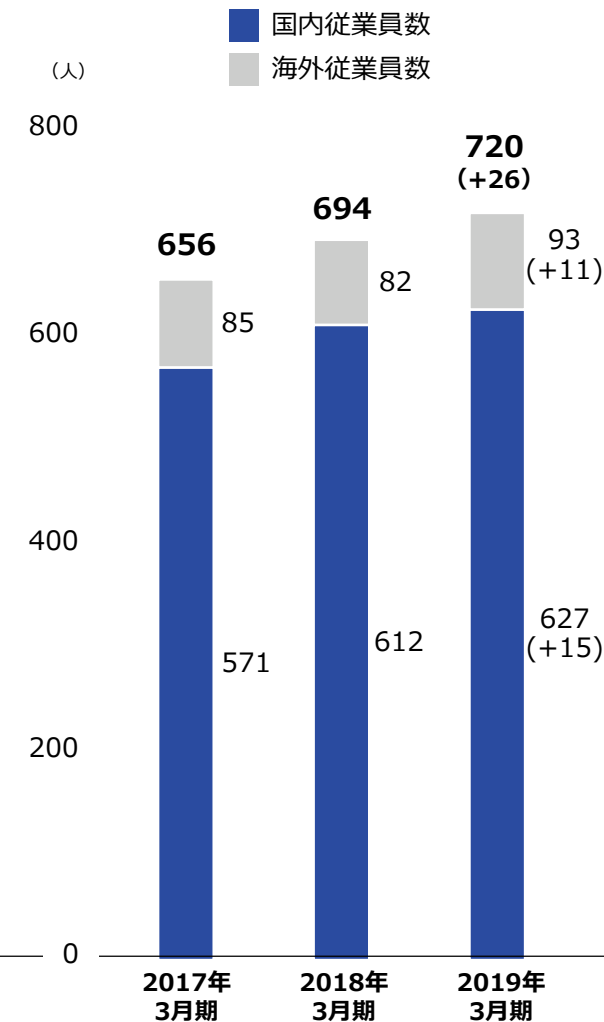
一人当たり売上高※



一人当たり営業利益※



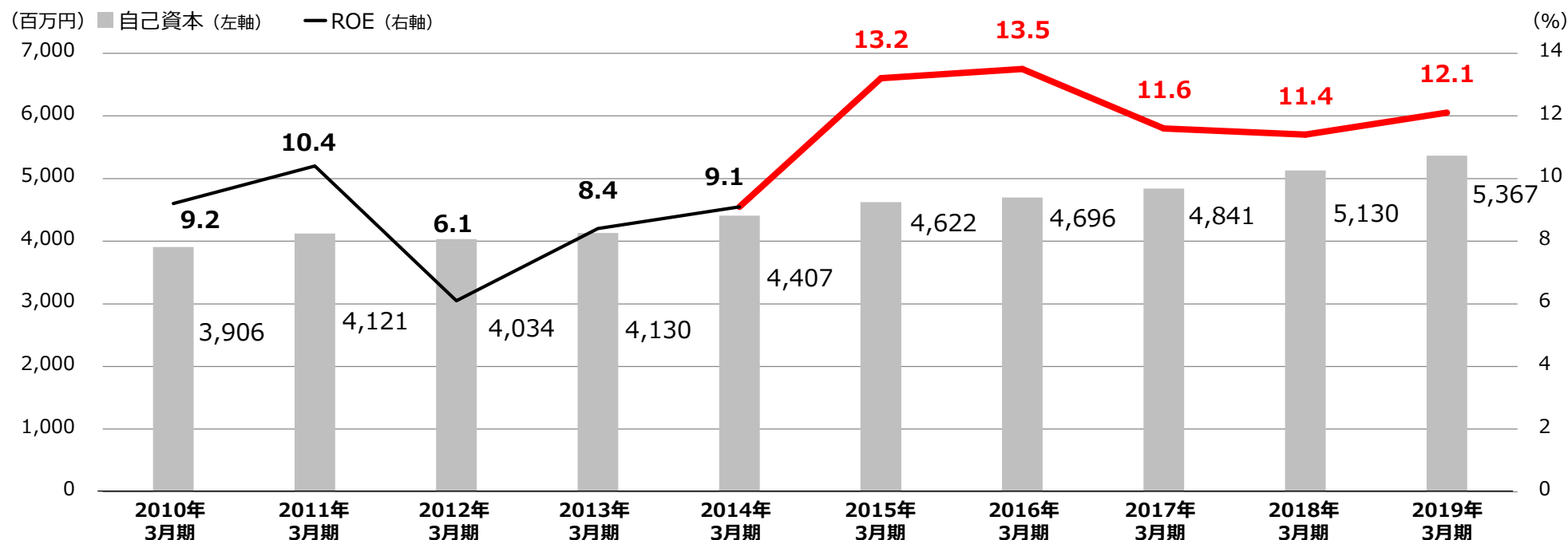
従業員数



※「国内従業員数」にて算出しております。

1-7 自己資本およびROEの推移

今後も資本効率および利益率の向上を図り、
ROE10%以上を継続的に目指してまいります。



※ 1 2011年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し算出しております。

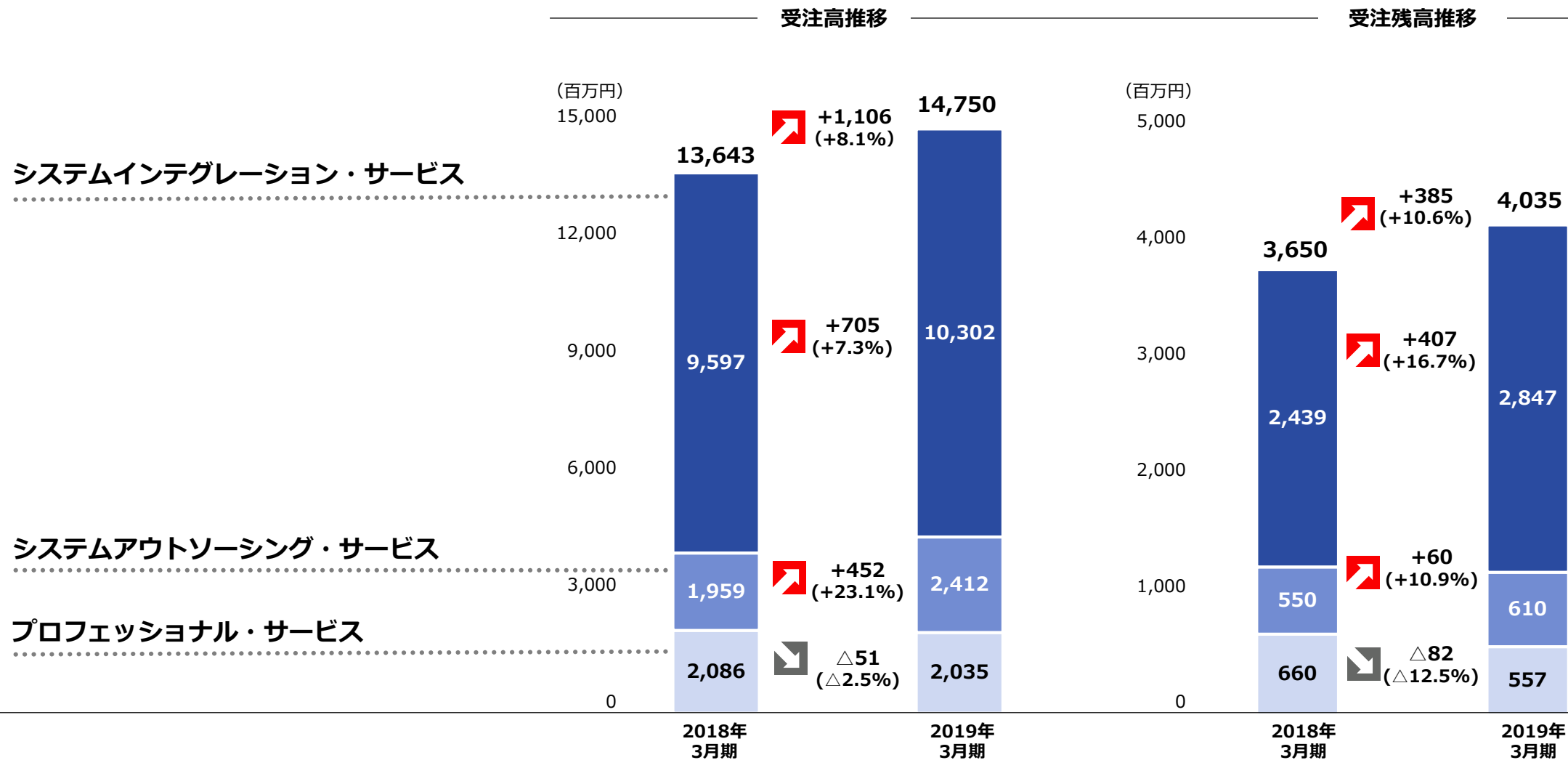
※ 2 2012年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し算出しております。

2

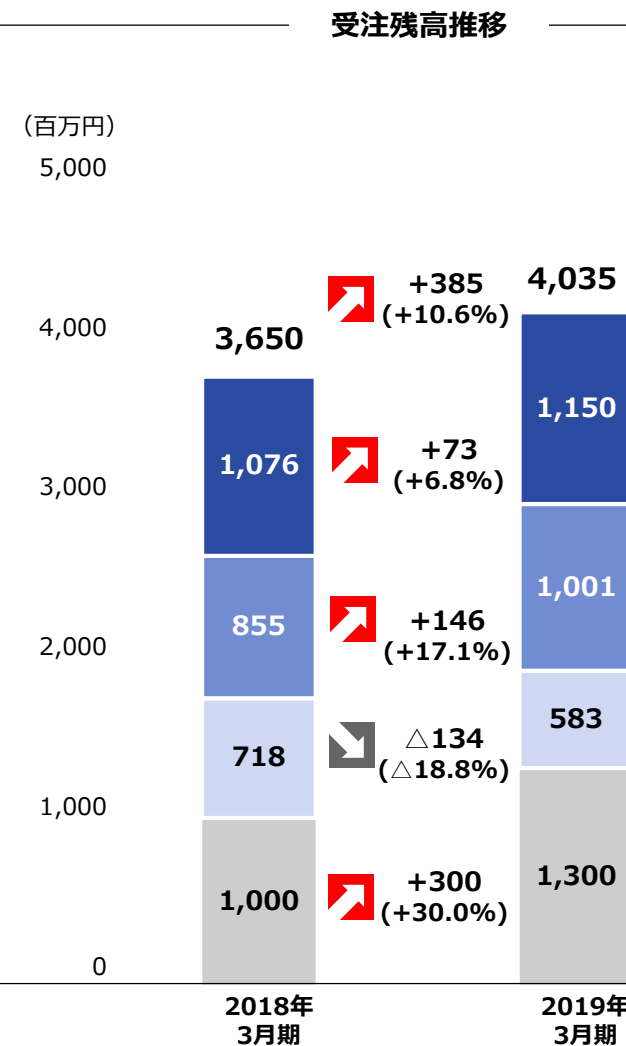
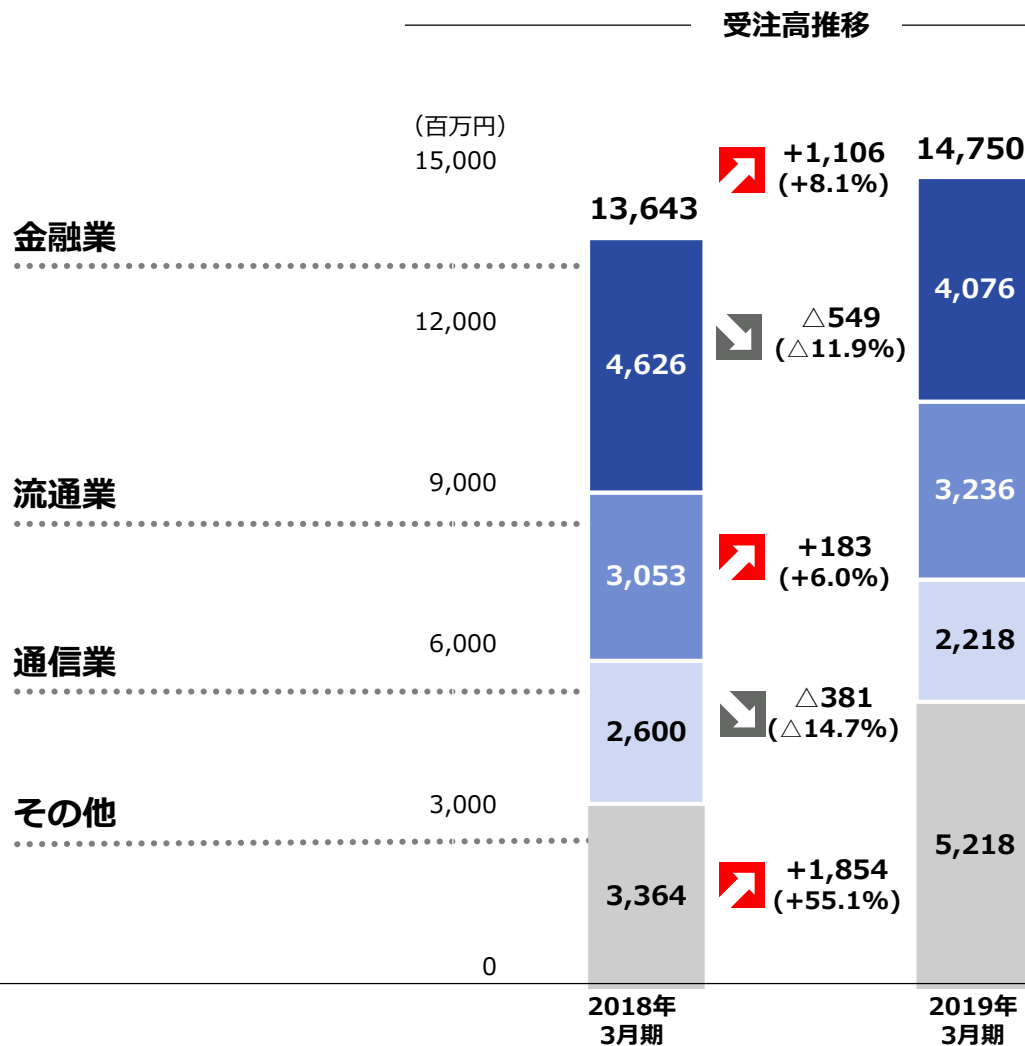
2020年3月期 見通し

1. 品目別受注状況
2. 業種別受注動向
3. 業績見通しの概要
4. 業績見通しのポイント
5. 業種別売上高見通し
6. 配当金および配当性向の推移

2-1 品目別受注状況



2-2 業種別受注状況



2-3 業積見通しの概要

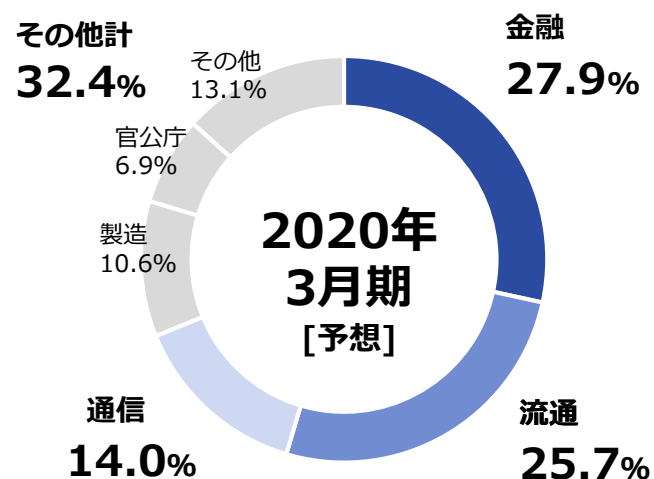
		2020年3月期 業績予想 (前期増減)	2019年3月期 実績
(単位：百万円)			
売上高	前期比 7.9%増 を見込む	15,500 (+1,134／+7.9%)	14,365
	- 主要アカウントに対する営業力強化による既存領域の拡大 - 新たなマーケット×チャネル×エリアへの展開（中部地域、エネルギー事業、産業分野、DX関連） - 既存スキームからの転換による新たなサービスの創出（新たなサービスの高度化、拡充、継続化）		
営業利益	前期比 11.9%増 を見込む	1,090 (+116／+11.9%)	973
	- エンハンスサービスの高度化による収益力の向上 - 全社横断機能・各プロジェクトでの品質向上施策強化による不採算案件の発生防止強化 - 研究開発の積極推進を継続（クラウドサービス・Agile・ブロックチェーン、AI等）		
		同利益率	7.0%
		同利益率	6.8%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%
		同利益率	7.0%

2-4 業積見通しのポイント

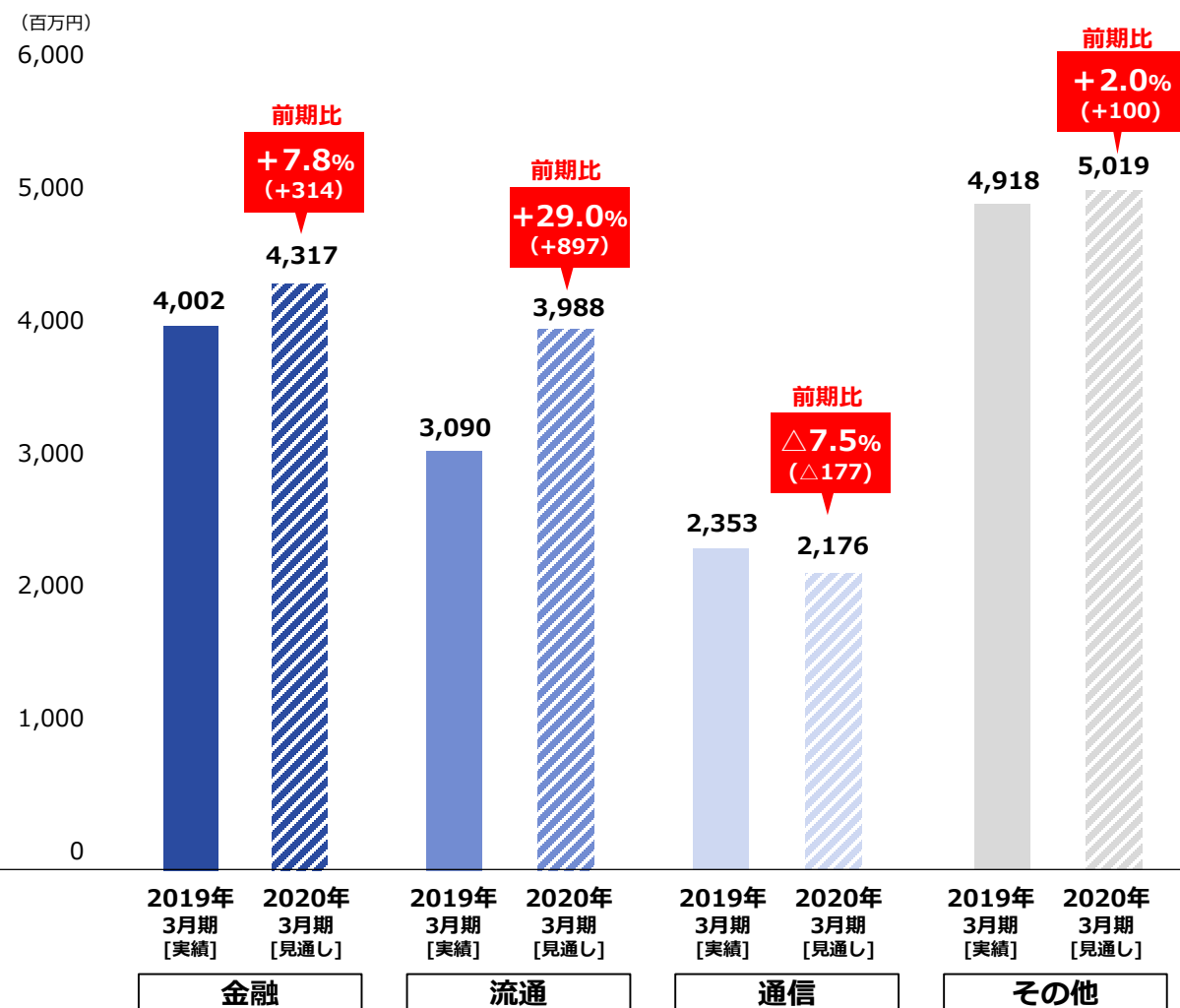
営業	金融 	- ネットバンクでのシェア拡大、クレジット関連の開拓と大型化 - ダイレクト生損保等の新領域でのSI案件の拡大 - 海外パートナーとの連携による担当領域の拡大
	流通・サービス 	- AI技術を活用したDX対応案件への営業力強化による受注拡大 - 消費税対応の新規受注、大型案件の受注拡大と体制の確保 - 産業・サービス分野における基幹系システム再構築案件の拡大 - システムコンサルティング案件の拡大
	IT基盤 	- クラウドソリューションサービスによるエンドユーザビジネスの増大 - クラウドコンサルビジネスの提供拡大 - 通信業向け大型インフラサービスの維持・拡大
	その他 	- 名古屋拠点での新領域開拓による受注拡大と営業力強化 - 大型案件の受注拡大と体制の確保 - ブロックチェーン関連案件での営業力強化による受注拡大 - AI関連案件の拡大
利益改善		- エンハンスサービスにおける付加価値向上活動、開発のスピード化、高付加価値サービスの提供、海外パートナーも活用した開発モデル実践による収益力向上

2-5 業種別売上高見通し

業種別売上高構成比 [20/3業績予想]

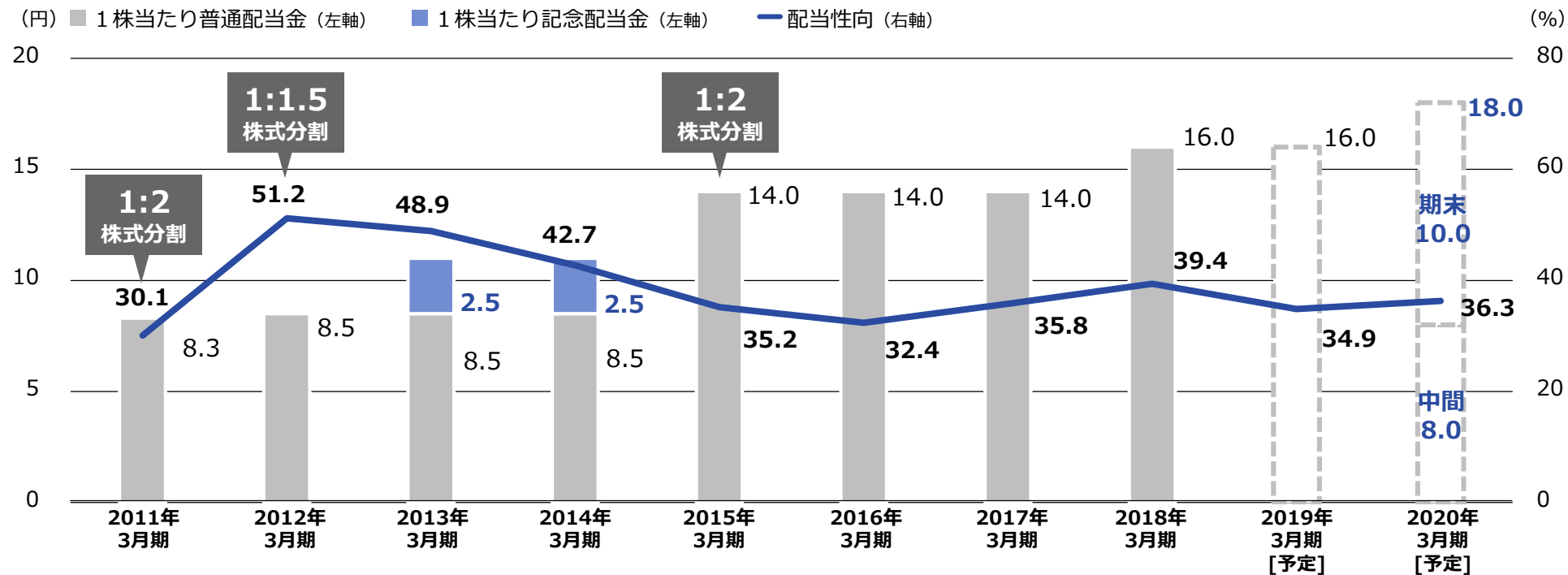


業種別売上高推移 (百万円)



2-6 配当金および配当性向の推移

今後も収益性の向上に努め、
安定的な配当を継続してまいります。



※ 1 配当金は、2010年4月1日の1:2の株式分割および2011年4月1日の1:1.5の株式分割、2014年10月1日の1:2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

※ 2 2011年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

※ 3 2012年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

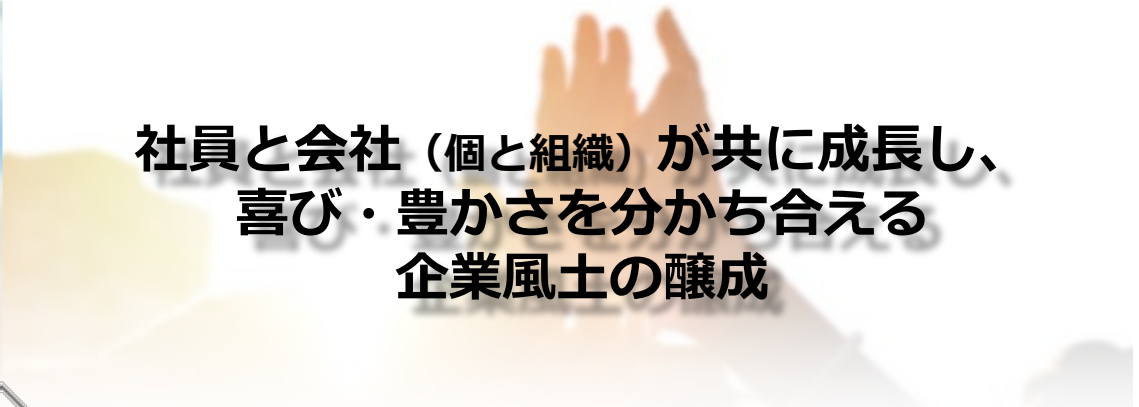
3 V2020 3rdSTEP 2018-2020年度 中期経営計画 の進捗と展望

1. 経営ビジョン「V2020」で目指す姿
2. 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望
3. さいごに

3-1 経営ビジョン「V2020」で目指す姿



顧客から“ベストパートナー”と
評価される企業へ



社員と会社（個と組織）が共に成長し、
喜び・豊かさを分かち合える
企業風土の醸成

顧客価値創造への挑戦による
キューブシステム流サービスビジネスを実現

3rd STEP サービスメニューの創出 2018-2020年度

SI・サービス提供型ビジネスの拡大

高付加価値なサービスメニューの創出

キューブシステムブランドの確立



3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

SI・サービス提供型ビジネスの拡大を図るとともに、
新たなサービスメニューの創出/サービスビジネスの展開を通じ
顧客ビジネスの発展に貢献し、顧客価値の最大化を図る

1 国内事業／海外事業

- ビジネスモデルの変革による**収益基盤強化**
- 強みを活用した**成長領域**への事業展開
- アジアを軸とした**グローバル**な事業展開

2 新規事業化／技術投資

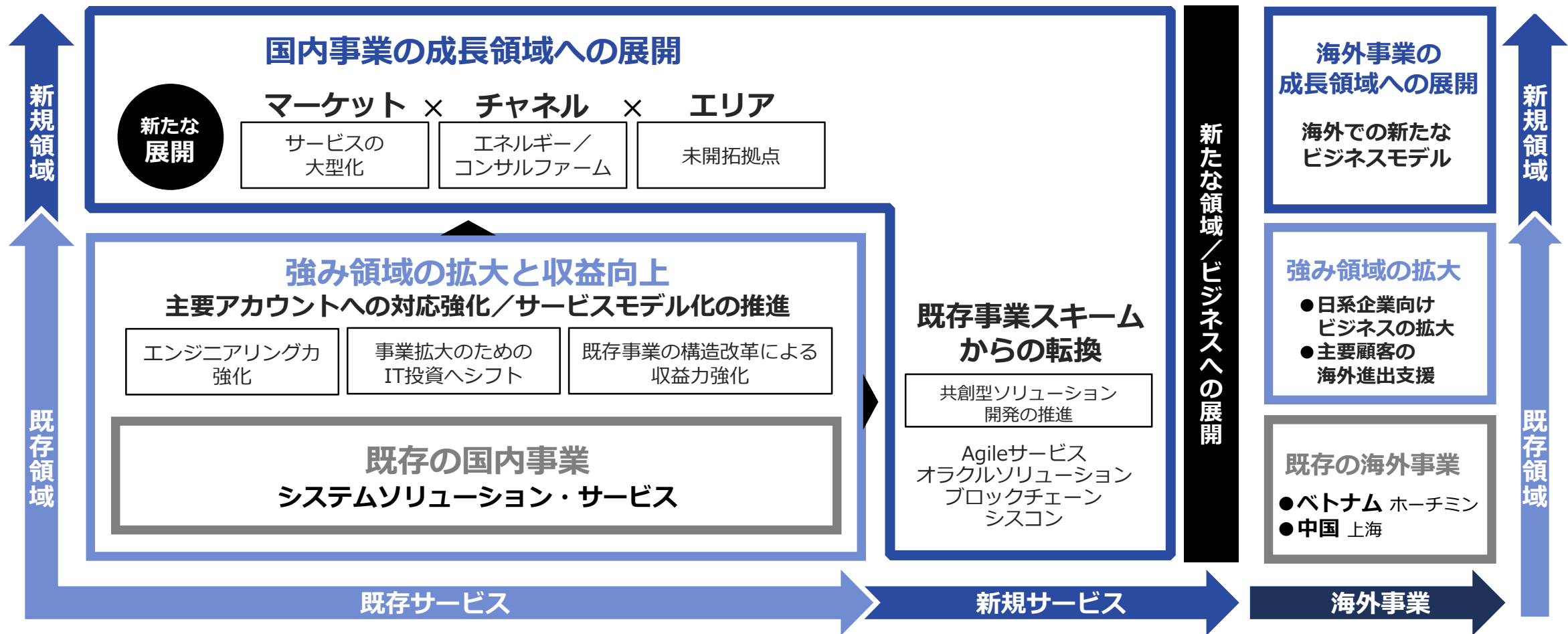
- **積極的**な**技術投資**による
独自性・新規性・高付加価値を備えた最適な**サービスの創出**

3 経営基盤

- **業務プロセス革新**による顧客満足向上
- 成長を促進する**ガバナンス機能の強化**

3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

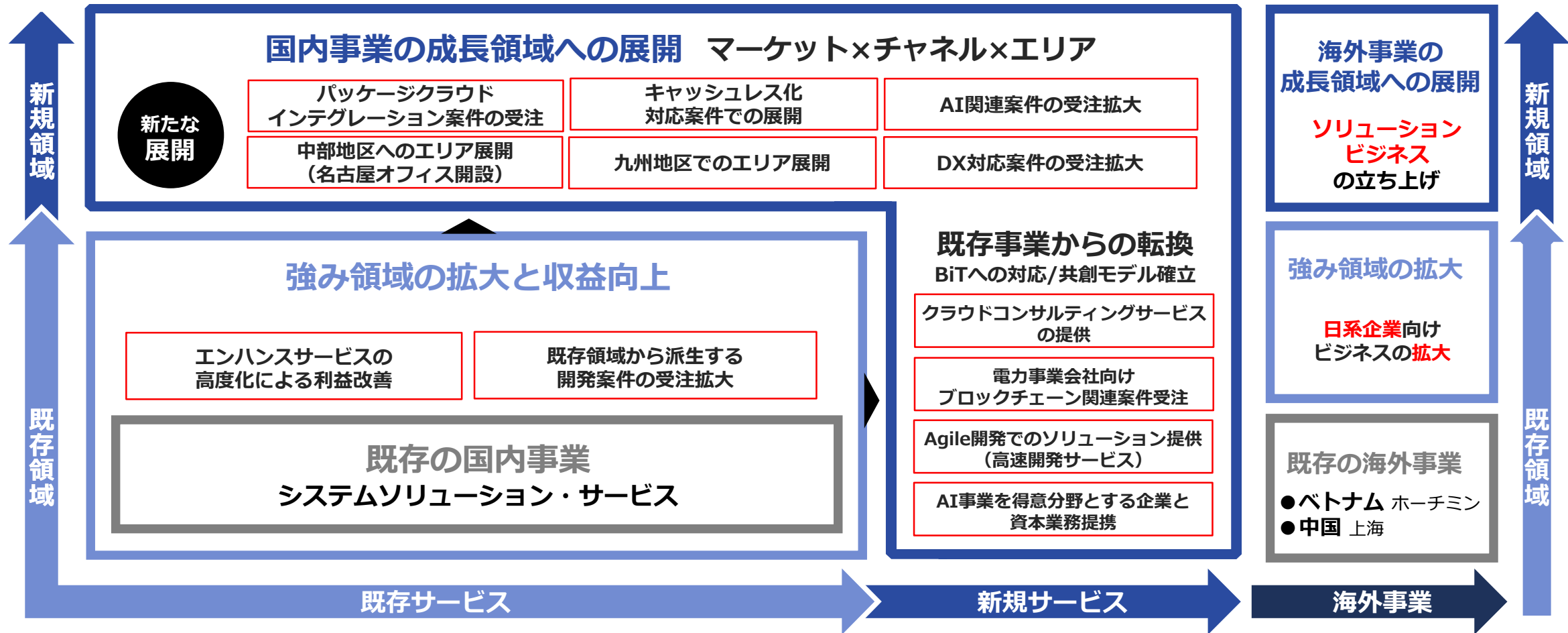
1 国内事業／海外事業 事業の方向性



3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

1 国内事業／海外事業 事業の方向性

2018年度成果



3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

2 新規事業／技術投資 新規事業化推進

顧客ニーズを先取りし、
競争力 -独自性・新規性・高付加価値- を備えた
最適なサービスの創出

インキュベーションの推進

積極的なソリューション開発投資（共創）

DevOps/Agile
ソリューション推進

日本CA社との協業による
新しいサービスモデルの提供

Blockchain/AI事業の始動

社内仮想通貨の導入
AI関連企業との提携

協業と共創の推進

ベンチャーキャピタル投資による
事業化推進

技術力強化と
人的リソースの確保

協業と共創の推進

Oracleクラウド
サービス提供

エンドユーザ向け
コンサルビジネス推進

3 経営基盤 パフォーマンスの最大化

業務プロセス革新による
顧客満足向上

成長を促進する
ガバナンス機能の強化

成長を促進する経営基盤の強化

事業成長を支える人材の育成と採用

事業成長を支える
人材の確保

中核人材の育成

ダイバーシティの推進

パートナー連携の強化

働く環境の品質向上

働き方改革の
推進・定着

人事制度の
改善・活用

役割、責任に合わせた
中長期的な報酬制度の構築

事業成長を支える仕組みの構築

ESGへの取組み活性化

全社横断機能の強化
モニタリング機能の強化

3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

2 新規事業／技術投資 新規事業化推進

2018年度成果



アジャイル開発



日本CA株式会社と提携、
新しいサービスモデルの
提供を開始

アジャイル開発による
ソリューション事業展開で
拡大を図る



A I



株式会社トリプルアイズ
との資本業務提携

ブロックチェーンやAI技術に
強みを持つ同社と協創・共同
研究を進め、マーケット拡大
を目指す



クラウド



オラクルクラウド向け
サービスを拡充

Zabbix (システム監視ソフト
ウェア) を使った構築
サービスを拡充。Zabbix社
とは認定パートナーを締結



ブロックチェーン



エネルギーに関わる
PoC開発に参画

ブロックチェーン技術を活用
し、お客様とともに「再生可
能エネルギーの利用拡大」を
目指した実証実験に参加

※1 Zabbix は Zabbix LLC のラトビアおよびその他の国における登録商標または商標です

※2 Oracleは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です

3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

3 経営基盤 パフォーマンスの最大化

2018年度成果



人材の確保



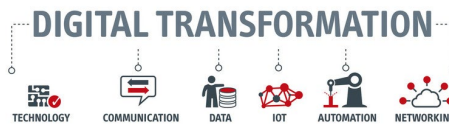
採用手法の改善による 人材の確保

- 新卒採用：60名（2019年4月1日入社）
- 中途採用：22名
- 離職率：9.8%
- 3年定着率：76.8%

※日本国内の数値となっております。



人材育成



中計と連動した 育成機会の提供

- ビジヨナリーウーマン研修（女性活躍推進）の実施
- DX人材、AI人材の育成注力



働き方改革



社員1人ひとりの生産性 向上に向けた取組み

プロジェクトと健康面の両面から業務実態を把握し、改善策を実施



報酬制度改革



中期目標と連動する 報酬制度の導入

- 譲渡制限付株式報酬制度の導入
- 知的資産の見える化に向けた社内仮想通貨導入

3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

今後の注力分野

CVC機能の強化

- 事業化につなげるR&D推進強化
- 更なる共創関係の構築とサービスメニューの充実化の促進が必要
- サービス体制の強化（拠点含む）

新規事業創出 成長領域拡大

（ポートフォリオ強化）

AI/ブロックチェーン 研究開発

（技術力強化）
（産官学ビジネス共創）

人的リソース 獲得

（パートナー戦略強化）

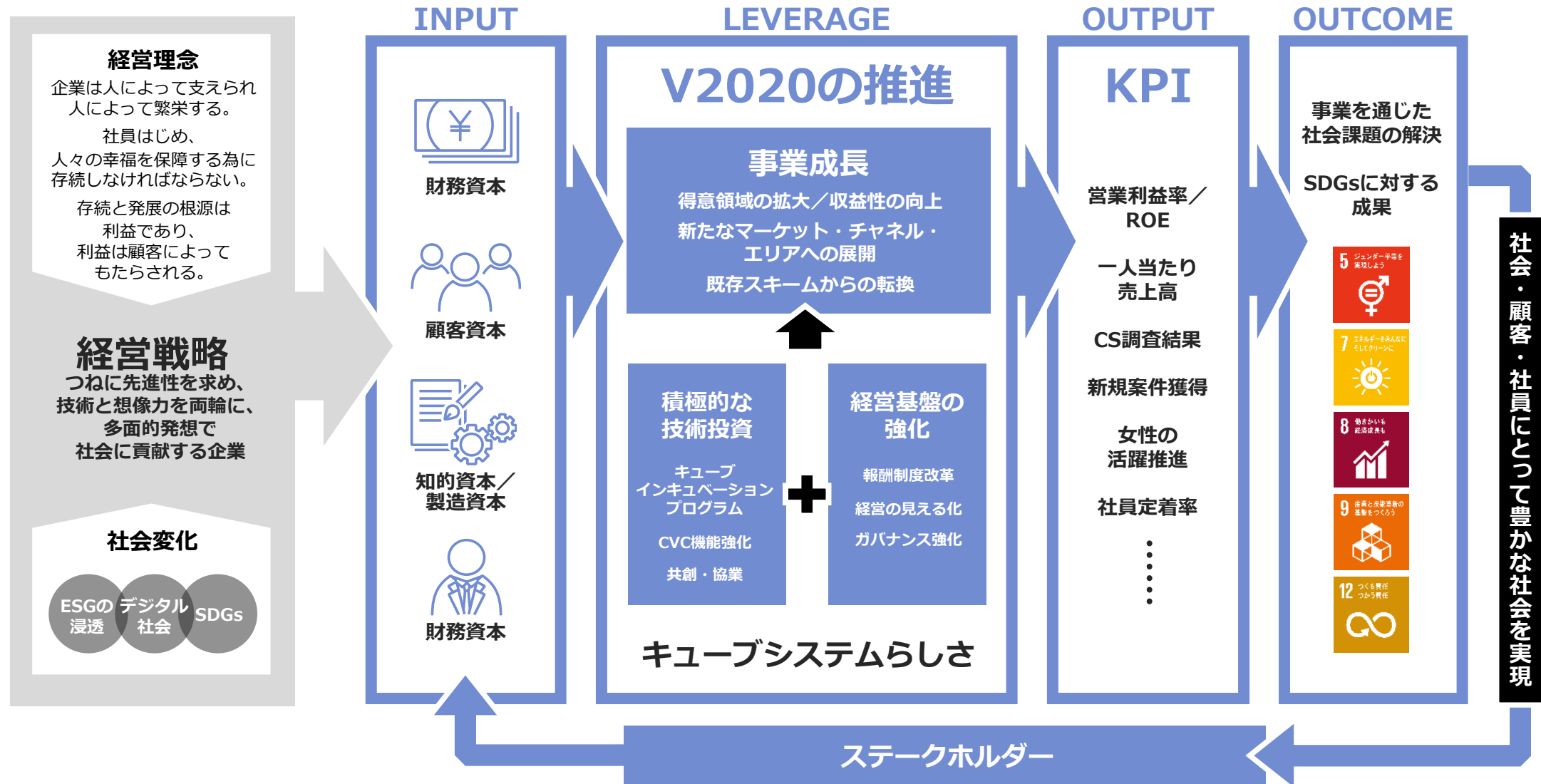
人材育成

- キャリアパス活用による育成
- 人材ローテーションの実施による成長スピードの加速化
- 中核人材研修の実施
- 次世代経営者育成のためのコミュニティ形成
- 採用手法の改善による更なる人材の確保

サステナビリティ推進

- サステナビリティ推進委員会を新設
サステナビリティ経営の実現に向けて、SDGsなど社会課題解決への取り組みの加速を目的とし、委員会を新設。サステナビリティに関わる重要課題を特定し、全社的に統括する

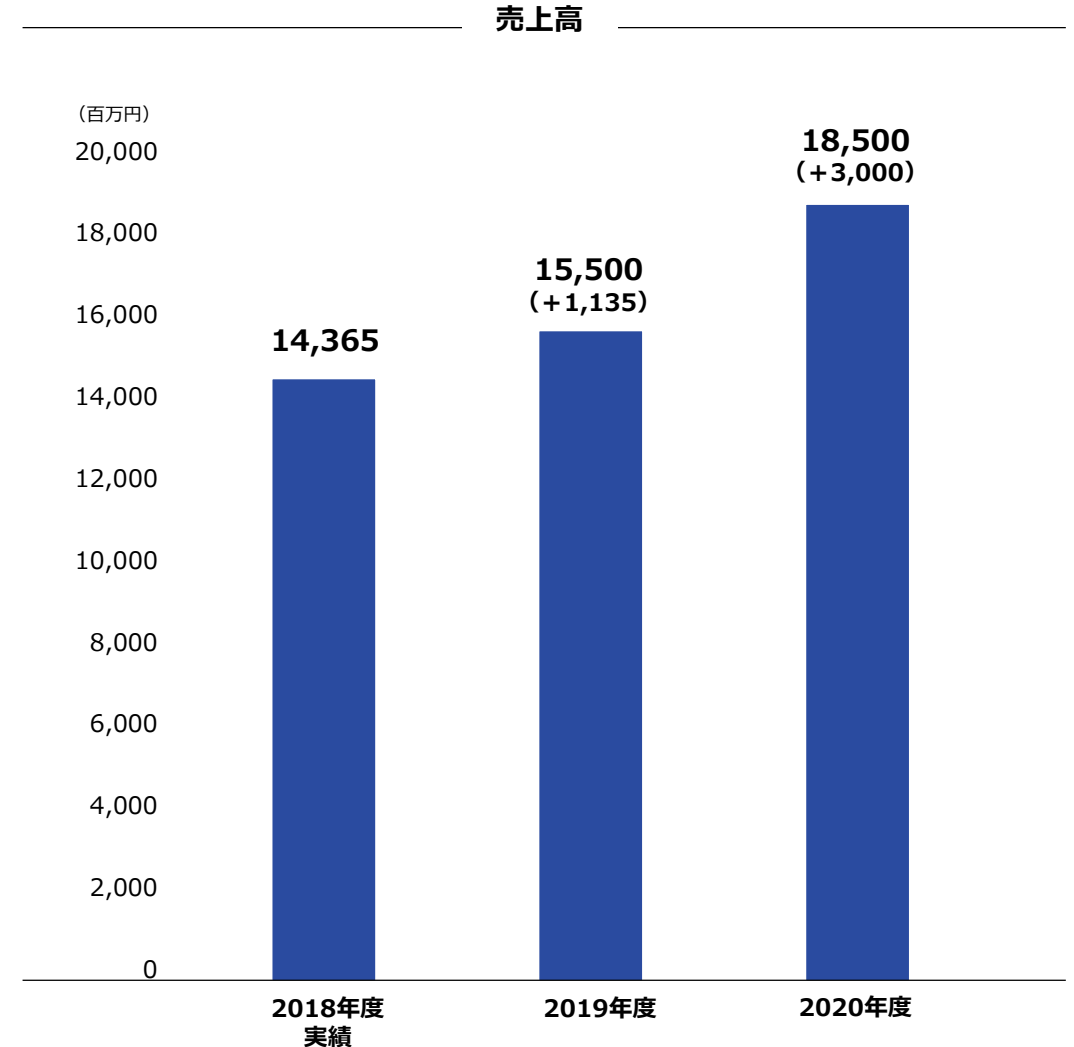
3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望



3-2 中期経営計画「V2020 3rdSTEP」の進捗と展望

計画／経営指標

	2018年度 実績	2019年度	2020年度
(単位：百万円)			
売上高	14,365	15,500	18,500
成長率	+5.9%	+7.9%	+19.4%
営業利益	973	1,090	1,776
利益率	6.8%	7.0%	9.6%
ROE	12.1%	13%	13%



3-3 さいごに

「これからも信頼されるキューブシステム」へ向けて
業績の拡大に邁進してまいります。

for Business

顧客から“ベストパートナー”と
評価される企業へ

for Company

社員と会社（個と組織）が共に成長し、
喜び・豊かさを分かち合える
企業風土の醸成

VISION

ソリューション・
SIビジネス

サービス提供型ビジネス

チャレンジ

人材育成プログラム

グローバル・ビジネス

積極的な開発投資

多種多様な
プロフェッショナル

評価・処遇体系



<https://www.cubesystem.co.jp/>

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。